

東京スタジアムの会場周辺及びアクセス検討PT（第3回）

議事概要

1 日 時

平成29年3月10日（金） 9時15分～10時15分

2 場 所

都庁第二本庁舎31階 特別会議室27

3 出席者

PT委員 31名

ワーキンググループ委員 25名 計 56名

4 概 要

（1）開 会

（2）オリンピック・パラリンピック準備局次長挨拶

（3）委員紹介（変更）

（4）議 題

①交通輸送需要推計等に基づく交通アクセスの課題及び対策の方向性

事務局から、交通輸送需要推計等に基づく交通アクセスの課題及び対策の方向性について、鉄道、シャトルバス、歩行者、自動車等の交通手段毎に説明があった。

②会場周辺土地活用

事務局から、大会における東京スタジアムの会場周辺土地活用について、駐車場、ファンゾーン、ホスピタリティ施設に係る説明があった。

（5）質疑応答

各委員より、以下について意見・質問等があり、事務局から補足説明等を行った。

〈鉄道〉

- ・新宿駅、明大前～下高井戸駅間における観客輸送と通勤通学輸送のバッティングが課題であり、開場時間早期化を検討してほしい。
- ・プレミアムフライデーによる総量抑制効果は未知数であるが、通勤通学輸送とのバ

ッティング対策として検討してほしい。

- ・多磨駅については、イベント時の利用率が非常に低いため、利用周知をするべき。
- ・西武多摩川線については、開幕戦の22時の時間帯の増便が可能である。

〈シャトルバス〉

- ・全体として用意できる車両の台数に限りがあるため、多磨駅の輸送を厚くすると他のルートが多少薄くなる可能性がある。
- ・多磨駅の活用により効率的な輸送が可能となる。

〈自動車〉

- ・高速道路の利用分散については、利用抑制も見据えた広報・周知活動が重要である。
- ・放射5号線、三鷹都市計画道路3・2・2号の整備は2019年大会に間に合い、東西方向の交通の分散が図られる。
- ・周辺地域外の隔地駐車場の活用について、イベント時のスタジアム周辺地域への一般車両集中回避のために検討してほしい。

〈観客分散〉

- ・調布駅等を活用した観客分散を検討してほしい。
- ・外国人観客に多摩地域のホテルの利用を促すことにより、新宿など東側からの来場者数を抑制できるのではないか。
- ・チケット販売や大会サポーターズクラブを活用し、観客の来場時間分散へ向けた周知等の方策を検討していく。
- ・ファンゾーンを会場周辺ではなく都内に設置すれば、観客総量抑制の点において大きな効果があるのではないか。
→（事務局）会場周辺のファンゾーンについては、来場時間分散等の効果を見込んでいる。

〈その他〉

- ・交通アクセスに関連した警備対策について、今後、本PTにおいて議論されるのか。
→（事務局）来年度、警備ガイドラインの提示や大会日程の決定等をうけ、本PTで具体的な検討を進めていく。

（6）報 告

事務局から、来年度のスケジュールについて説明があった。

以上